

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	商店街活性化支援事業			事業番号	19-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	商工観光課	大町 徹	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の産業がさかんなまちをつくる	
		施策	19	地域を支える商業・工業の振興	
予算事業名	商店街活性化支援事業費		商業振興計画推進事業費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	伊勢原市商店街活性化事業補助金交付要綱、伊勢原市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱				
国・県の計画等	神奈川県地域商業まちづくり総合支援事業費補助金交付要綱 県道61号線電線地中化事業		計画期間	-	
関連個別計画	県道61号線電線地中化に伴う商店街活性化事業 伊勢原駅北口周辺市街地再開発基本構想		計画期間	-	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	商店経営者の高齢化や後継者不足、購買方法の多様化、さらには人口減少による顧客の減少など、経営環境の悪化等から店舗数の減少傾向が見受けられ、商店街の衰退につながる恐れがあります。				
目的 (何をどうしたいのか)	本市の商業が描く将来像を「にぎわい、元気あふれる伊勢原らしさのあるまちづくり」と掲げ、事業者の意欲的な販促活動や商業の担い手の育成への支援に加え、商店街の活性化や商店会をはじめとする中小個店と大型店の連携及び農商工連携による新たな商業活動を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	事業者及び市民				
事業内容 (手段、手法など)	・商店会の誘客・活性化イベントを引き続き支援するとともに、商業振興計画重点プロジェクトの計画的な活動及び事業実施を支援します。 ・空き店舗等の減少に向けて補助金等の支援策の見直しを検討し、起業・創業者や新規事業者等への活用を促します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	商店街活性化支援	継続的支援	継続的支援		
	第2次商業振興計画	計画実行	計画実行		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
	商業活性化に向けた各種イベント等の開催		28年度	29年度	
		12回	15回	15回	

 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	商業振興計画重点プロジェクトの計画的な活動を支援し、計画の着実な推進を図ります。 商店街の自主的な活性化事業を支援するとともに、商店街活動及び創業者支援の空き店舗活用を促進します。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先 伊勢原市商工会、伊勢原市商店街連合会	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	商店街活性化支援	継続的支援	継続的支援	
	第2次商業振興計画	計画実行	計画実行	
	県道61号電線地中化整備に伴う商店街支援	継続的支援	継続的支援	
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化イベント等への支援及び空き店舗補助金制度を活用し創業を支援しました。 ・商業振興計画に基づく重点プロジェクトを支援しました。 ・県道61号線の電線地中化整備事業を支援しました。 			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	商業活性化に向けた各種イベント等の開催	12回	15回	15回

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		3,482		千円	1,191		千円		
内訳	国県支出金 ①	0		千円	0		千円		
	地方債 ②	0		千円	0		千円		
	その他特財 ③	0		千円	0		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	3,482		千円	1,191		千円		
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.20	人	1,730	千円	0.32	人	2,794	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.20	人	1,730	千円	0.32	人	2,794	千円
トータルコスト (a)+(b)				5,212	千円			3,985	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	商店街イベント数		単位	商店街イベント数		単位	
		対象数	15		回	15		回	
	総事業費／対象数	347,467		円	265,667		円		

評価 (Check)へ

評 価 (Check)

進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	商業振興計画の重点プロジェクトを推進しました。商店街が実施する活性化イベントを支援するとともに、空き店舗活用事業補助金制度を活用し、創業を支援しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事内容等	中心市街地の活性化計画や商業振興施策の計画など、他市でも同様の計画推進を図っていますが、空き店舗対策については、創業者向けの奨励金を交付するなど、創業支援と連携した空き店舗の活用を図りました。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	商業振興計画に基づく重点プロジェクトを進めることで、商業振興のための商品開発やまちなみ環境整備、プロモーション活動を着実に進め、PR用のパンフレットの作成や逸品作りの可能性を見出すことができました。また、経営者等の担い手育成や店舗間・商店街間の横の連携等を構築しました。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	伊勢原市商工会と連携した計画推進を図ることで、重点プロジェクトを計画的かつ効果的に推進しました。ただし、参加者が少ない時もあり、参加を促進する方法の検討が必要です。また、補助金等の交付により、商店街活動や空き店舗活用を効率的に実施しました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)

事業推進上の課題	重点プロジェクトの事業化を進める中で、事業費の確保や協力者の確保が必要です。空き店舗等の活用を促進するため、更なる支援制度等の強化及び情報を広く発信する仕組みづくりが必要です。県道61号電線地中化整備事業の進捗状況を把握し、街路灯の整備等を進めるために県や商店街との調整を図ることが必要です。
次年度以降の取組の方向性	計画の最終年度となる平成30年度には商業振興計画の重点プロジェクトの推進と併せて、5カ年のまとめを行うとともに、次期計画策定の検討を行います。商店街の自主的な活性化事業を支援するとともに、商店街活動及び創業者支援の空き店舗活用を促進していきます。県道61号電線地中化整備事業の進捗状況に注視し、街路灯の整備等における県や商店街との調整を行います。
所管部長による総評	今期の商業振興計画の着実な遂行を図るとともに、次期計画策定に向け、後継者育成や新たな顧客獲得、雇用創出に向けた創業支援、まちの賑わいづくり等の課題を抽出します。また、県道61号電線地中化整備の進捗状況を見据え、県と商店街の調整及び街路灯整備等を支援していきます。